

■ ラウンドアバウトの導入に向けた取組について

～新しい交差点制御方式～

交差点制御方式の一つであるラウンドアバウトは、安全性、効率性に有効であり、大規模災害等に強い交通環境の実現、信号機等交通安全施設のLCCの低減及び環境にやさしい省エネ対策の観点から、昨今導入について検討されています。

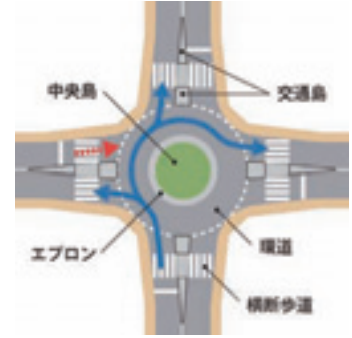
ラウンドアバウトとは、環道交通流に優先権があり、かつ環道交通流は信号や一時停止などにより中断されない円形の平面交差点の制御方式のことです。この主な特徴としては

- ・ 車両速度を抑制することができ事故発生時の損失の軽減が可能
- ・ 交差点が少ないなど安全度が高い
- ・ 信号待ちがなく、時間損失が減少
- ・ 停電時でも自律的に機能し、低コスト

などが一般に挙げられています。

県内では、全国で初めて信号機を撤去し設置した飯田市東和町交差点をはじめ、観光地の6枝交差点を改良した軽井沢町六本辻交差点のほか、飯田市吾妻町交差点、須坂市野辺町交差点と沼目交差点および安曇野市本村円交差点においても運用されています。

また、平成26年9月には道路交通法の一部改正が施行され、環状交差点における車両等の交通方法が定められました。



ラウンドアバウト概念図

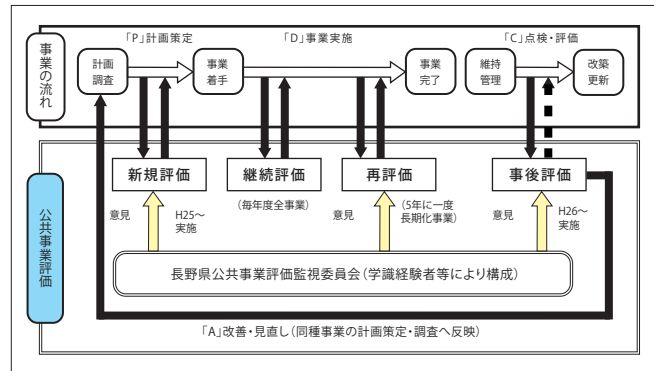
市町村名	交差点名	供用年月
飯田市	あづまちょう 吾妻町	H23.10
飯田市	とうわちょう 東和町	H25.3
軽井沢町	ろっぽんじ 六本辻	H26.5
須坂市	のべまち 野辺町	H26.9
安曇野市	ほんむらまどか 本村円	H27.4
須坂市	ぬまめ 沼目	H28.6



須坂市 沼目

■ 長野県公共事業評価制度

本県では、公共事業の一層の効果的かつ効率的な執行を図るとともに、実施過程の透明性を確保するため、公共事業評価を実施しています。評価結果は、個別箇所の採択の決定や取組方針の検討等に活用しています。

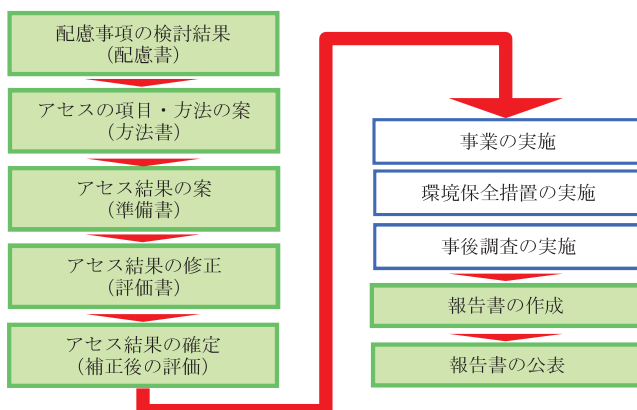


■ 環境アセスメント（環境影響評価）制度

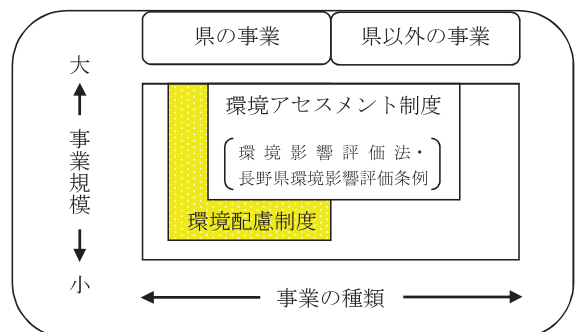
環境アセスメント制度とは、大規模な開発事業を実施しようとする事業者が、住民や関係自治体などの意見を聴きながら、事業が環境に及ぼす影響について調査・予測・評価し、より環境に配慮した事業とするための法律及び条例です。

県では更に、環境アセスメント制度の対象とならない規模や種類の県事業についても、環境や景観に配慮した事業として推進するため、公共事業等環境配慮制度を実施しています。

環境アセスメントの
手続きの流れ



環境アセスメント制度と環境配慮制度との関係



- 環境アセスメント制度・・・県が実施する事業と県以外の者が実施する事業を対象。
- 環境配慮制度・・・県（企業局を含む）が実施する事業のみ対象。